

第1号報告

事業報告書

－ 平成28年度 －

(第8期)

自：平成28年4月1日

至：平成29年3月31日

1 当学会の現況

会員数の推移

会員種別	平成 28 年 3 月 31 日現在	入会者	退会者	平成 29 年 3 月 31 日現在
正会員	168	28	21	175
学生会員	33	9	10	32
賛助会員	11	2	1	12
公益会員	3	1	1	3
名誉会員	0	0	0	0
総会員数	215	40	33	222

役員に関する事項

現在の役員は以下の通りである。

代表理事 今野 雅 会長
理事 大島 聡史
理事 酒井 秀久
理事 柴田 良一
理事 高木 洋平
理事 中川 慎二
理事 新倉 寿夫
理事 西 剛伺
理事 野崎 文也
理事 藤岡 照高
理事 吉田 正典
監事 野村 悦治

主たる事務所の住所

東京都新宿区荒木町 5 番地 14-201

事務局の住所等

東京都新宿区荒木町 5 番地 14-201 (株式会社 ワールドミーティング 内)

TEL: 03-3350-0363 FAX: 03-3341-1830

2 事業活動報告

平成 28 年度の事業計画に沿って活動の概況を報告する。

2.1 社員総会

2.1.1 定時社員総会

開催日時 平成 28 年 6 月 24 日 16:30~17:30

開催場所 ルーテル市ヶ谷センター 会議室

正会員現在数及び定足数

正会員現在数： 172名 定足数： 87名

出席正会員数 104名

(内訳)

出席者数： 17名

電磁的方法による委任： 87名

うち

議長を代理人にする者： 87名

出席する他の正会員を代理人にする者： 0名

議事

報告事項	第1号報告	『平成27年度事業報告』	
決議事項	第1号議案	『平成27年度決算報告』	可決
	第2号議案	『平成28年度事業計画』	可決
	第3号議案	『平成28年度収支予算』	可決
	第4号議案	『定款の変更』	可決
	第5号議案	『理事の増員について』	可決
	第6号議案	『平成29年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』	可決

2.2 公益目的事業

2.2.1 催事

2.2.1.1 平成28年度オープンCAE講習会(実行委員長：酒井理事)

開催日 2016年6月24日

開催場所 ルーテル市ヶ谷センター

概要 講習会、懇親会 ※詳細な内容については学会ホームページ参照

参加者 講習会：33名、懇親会：17名

2.2.1.2 オープンCAEシンポジウム2016(実行委員長：藤岡理事)

開催日 2016年11月24日(施設見学)、25日(トレーニング)、26日(講演会)

開催場所 東京大学生産技術研究所(トレーニング、講演会)

概要

講演会、トレーニング、懇親会、施設見学 ※詳細な内容については学会ホームページ参照

参加者

講演会：98名、トレーニング：68名、懇親会：53名、企業見学ツアー：10名

特記事項：付帯トレーニングの一部(固体分野、熱流体分野)に対して(社)日本機械学会の計算力学技術者検定事業による講習会認定を取得し、当学会が主催する同様なトレーニングにも展開した(平成29年度学会総会付帯トレーニングから有効)。

2.2.1.3 オープンCAEサマースクール2016(実行委員長：高木理事)

開催日 2016年8月26日～28日

開催場所 山喜旅館(静岡県伊東市)

概要 講義・演習、懇親会 ※詳細な内容については学会ホームページ参照

参加者 18名

2.2.1.4 2017年1月28日秋田講習会(実行委員長：酒井理事)

開催日 2017年1月28日

開催場所 秋田県秋田市 秋田大学手形キャンパス

概要 講習会 流体解析トレーニング、可視化・構造トレーニング ※詳細な内容については
学会ホームページ参照

参加者 講習会：24名(流体解析トレーニング)、10名(可視化・構造トレーニング)

2.2.2 委員会活動

2.2.2.1 V&V 委員会 (委員長：今野会長)

2016年8月26日～28日のサマースクール2016での演習課題・自習課題として、V&VレポジトリにおけるOpenFOAM用ケースを整備した。JCAHPCのOakforest-PACS, 東京大学Reedbush-U、FOCUS新システムについてのOpenFOAMベンチマークを行い、OpenFOAMベンチマークレポジトリに計測結果を整備した。また、2016年11月26日のオープンCAEシンポジウム2016や2016年12月16日の第4回OpenFOAMワークショップなどで発表した。

2.2.2.2 コミュニティ委員会 (委員長：今野会長)

2016年6月25日のオープンCAE合同勉強会をはじめとしてオープンCAE勉強会支援を行なった。また、2016年11月26日のオープンCAEシンポジウム2016の講演会において、オープンソースCAE普及支援状況と計画を発表した。

2.2.2.3 広報・賛助委員会 (委員長：新倉理事)

広報活動の一貫として、会員向けのニュースレター2016年第04号～第10号、2017年第01号を配信した。また、学会紹介のリーフレットを作成し、12月の高度情報科学技術研究機構のワークショップにて配布、またWebからもダウンロードできるようにした。

賛助会員向けの活動として、2016年9月12日に賛助会員の意見交換会を実施した。賛助会員の学会への意見を伺うとともに、オープンCAEシンポジウム2017で実施予定のランチョンセッション、ライトニングセッション等について情報共有を行うとともに、協力を依頼し、シンポジウムにてこれらのセッションを開催した。

2.2.2.4 Web編集委員会 (委員長：高木理事)

各担当理事による情報発信を積極的に進めることとし、学会活動の基盤としての活用方法を検討した。コンテンツマネジメントシステムのWordPressを利用してWebコンテンツを整理し、会員が学会が発信する情報を速やかに入手できるようにした。

2.2.2.5 出版・編集委員会 (委員長：吉田理事)

学会監修の『OpenFOAMによる熱移動と流れの数値解析』(森北出版、2016年6月出版予定)の編集を進め、8月に無事出版した。また、オープンCAEに関する論文誌を新たに刊行するため、投稿規定等の準備を進めた。

2.2.2.6 国際化推進委員会 (委員長：中川理事)

英語での情報発信を活発にするため、twitterアカウントを作成した。学会や日本でのコミュニティの情報を配信するための準備を進めた。オープンCAEシンポジウム2016の講演タイトルおよび著者名の英語情報をまとめ、日本語での概要集公開後に公開するための取組みを進めた。

2.2.2.7 資料翻訳委員会 (委員長：藤岡理事)

OpenFOAMユーザガイド・プログラマズガイドの和訳を継続し、新バージョンへの対応も行った。EdF作成のSalome-Mecaトレーニング教材の翻訳委員会を募集し、準備を進めた。

2.2.2.8 モデルベースデザイン委員会（委員長：西理事）

平成 29 年度に新規に委員会を立ち上げ、その中間成果として、オープン CAE シンポジウム 2016 において、OpenModlica 講習（入門、初級）を実施するとともに、オーガナイズドセッションを開催した。また、活動をさらに活発化させるべく、他学会の研究会等において、オープンソースによるモデルベースデザインと本委員会活動を紹介した。

2.2.2.9 表彰委員会（委員長：中川理事）

学会の表彰に係る業務をとりまとめるため、表彰委員会を立ち上げた。田辺賞および学生優秀講演賞などについて、シンポジウム実行委員会などと連携しながら、必要な業務を行なうこととする。表彰規定の整備について準備を進めた。

2.3 収益事業

2.3.1 講師派遣事業

平成 29 年度には、講師派遣の依頼はなかった。

2.4 理事会

2.4.1 第 1 回理事会

- 1 開催場所 ステーションガーデンタワー
- 2 開催日時 平成 28 年 5 月 21 日 13 時 00 分～17 時 00 分
- 3 理事現在数及び定足数
現在数 10 名 定足数 6 名
- 4 出席者 今野雅（代表理事） 大島聡史 酒井秀久 高木洋平 中川慎二
新倉寿夫 西剛伺 野崎文也 藤岡照高 野村悦治（監事）
- 5 欠席者 柴田 良一
- 6 議案等
決議事項 第 1 号議案『定款の変更案について』
第 2 号議案『理事の増員及び新任の理事候補者について』
第 3 号議案『第 7 回定時社員総会の開催について』
第 4 号議案『平成 28 年度オープン CAE 講習会の開催概要について』
第 5 号議案『オープン CAE シンポジウム 2016 の開催概要について』
第 6 号議案『モデルベースデザイン (MBD) 委員会の立ち上げについて』
協議事項 ① イベント名の付け方について
② 資料翻訳について
報告事項 ① OpenFOAM コードリーディング勉強会の立ち上げ
② サマースクール 2016 の開催について
③ 論文誌について
④ 国際化の検討
⑤ MONOist への記事の掲載について
⑥ 田辺賞について
⑦ リポジトリの移行について
⑧ HP 上での勉強会記載について

7 会議の概要

(1) 定足数の確認

冒頭で、出席理事一同は、本会議が定足数を充足していることを確認した。

（出席者 9 名）

(2) 議案の審議状況と議決結果

今野会長が議長となり、審議に入った。

(決議事項)

第1号議案 『定款の変更案について』

定款変更案を、以下の通り出席理事全員一致で可決した。

- ・事務所が爆発研究所から(株)ワールドミーティングに代わるため、住所が千代田区から新宿区となる。
- ・事業を「他学会との交流、協力」から「国内外の他学会等との交流、協力」とする。
- ・「補欠又は増員により選出された理事、監事の任期を前任者又は他の在任理事の残存期間と同一にする」という文言を加える。

第2号議案 『理事の増員及び新任の理事候補者について』

運営体制を強化するために、平成28年度に理事を増員することとし、本人の合意のもとに新任の理事候補者を、以下の通り出席理事全員一致で可決した。

- ・新任：吉田正典

第3号議案 『第7回定時社員総会の開催について』

本議案は、第7回定時社員総会の概要及び招集について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- ・開催日時：平成28年6月24日 16:30～17:30
- ・開催場所：ルーテル市ヶ谷センター会議室
- ・議案：

(報告事項)

- ・平成27年度事業報告

(決議事項)

- ・平成27年度決算報告
- ・平成28年度事業計画
- ・平成28年度収支予算
- ・定款の変更
- ・理事の増員について
- ・平成29年度事業計画及び収支予算についての暫定処置
- ・欠席社員の議決権行使：電磁的方法により委任状を提出することができる。

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

議案書は事務局において作成することとし、H28年度収支予算へ各委員会の予算を計上することとした。

第4号議案 『平成28年度オープンCAE講習会の開催概要について』

本議案は、第7回定時社員総会に付随して開催する平成28年度オープンCAE講習会の概要について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- ・講習会担当：酒井理事
- ・プログラム：
 - ・理事会 12:10-12:45
 - ・講習(2部屋×3コマ) ①10:30-12:00 ②13:00-14:30 ③14:45-16:15
 - ・定時社員総会 16:30-17:30
 - ・懇親会 18:00-20:00
- ・講習内容：
 - ・会議室1) ①FreeCAD(坪田) ②DEXCS for OpenFOAM(野村) ③メッシュ生成法(野村)
 - ・会議室2) ①Flowsquare(源) ②Salome-Meca 弾塑性(柴田) ③Salome-Meca 接触(柴田)

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

第5号議案 『オープンCAEシンポジウム2016の開催概要について』

本議案は、オープンCAEシンポジウム2016の概要について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- ・日程 2016年11月24日(木)、11月25日(金)、26日(土)
- ・会場 東京大学生産技術研究所(案)
- ・運営方針案(実行委員会、主な業務、講演会、予算)について確認した。

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

第6号議案 『モデルベースデザイン(MBD)委員会の立ち上げについて』

本議案は、モデルベースデザイン(MBD)委員会の立ち上げについて理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

- ・委員：オープンCAE勉強会@関東(流体など)のメンバーに声かけし、委員就任を内諾済みである。
- ・活動：シンポジウムに向けて活動を開始したい。

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

(協議事項)

① イベント名の付け方について、下記のような意見が出された。

- ・「トレーニング」か「講習会」かについて、以後は「講習会」で統一する。
- ・講習会について、シンポジウム時は「付帯講習会」、地方開催は「地名講習会」と呼称する。
- ・「西暦」か「和暦」かについて、以後は西暦で統一する。過去の名称は変更しない。
- ・タイトルに日付と場所を入れる。例：オープンCAE講習会(XXXX年XX月XX日、東京)

② 資料翻訳について、下記のような意見が出された。

- ・matplotlibの公式サイトを和訳することは実施検討してもよいと思われる。

(報告事項)

① OpenFOAMコードリーディング勉強会の立ち上げ

- ・今野会長より、関東勉強会(流体)のメンバー等から賛同を頂いたとの報告があった。
- ・高木理事より、関西勉強会では要請があれば担当できる範囲で協力するとの意見が出たとの報告があった。

② サマースクール2016の開催について

- ・高木理事より、サマースクールの参加申込を5月22日(日)より開始するとの報告があった。

③ 論文誌について

- ・西理事が規定を作成していくことになったとの報告があった。

④ 国際化の検討

- ・中川理事より、まずタイトルだけ英語のページを作っていく、国際化推進委員会と資料翻訳委員会で相談しながら順次進めるとの報告があった。

⑤ MONOistへの記事の掲載について

- ・新倉理事より、MONOistの記事担当者に中川理事を紹介したとの報告があった。

⑥ 田辺賞について

- ・高木理事より、学会賞選考委員会を設立、もしくは既存委員会でのタスクとして明記すべきとの報告があった。

⑦ リポジトリの移行について

- ・今野会長より、学会の旧 WEB サーバ(さくら VPS) で運用していた OpenFOAM ユーザガイドの SVN リポジトリを、5 月 15 日 GitHub へ移行したとの報告があった。

⑧ HP 上での勉強会記載について

- ・藤岡理事より、HP 上での勉強会記載について、規約、及び規約に対応済みとの報告があった。

2.4.2 第 2 回理事会

- 1 開催方法 電子メールによる表決
- 2 開催期間 平成 28 年 6 月 22 日～23 日
- 3 理事 今野雅 (代表理事) 大島聡史 酒井秀久 柴田良一 高木洋平 中川慎二
新倉寿夫 西剛伺 野崎文也 藤岡照高
- 4 配布資料 第 7 回定時社員総会議案書 (電子メールに添付して配布)
- 5 議案 決議事項 第 1 号議案 『平成 27 年度事業報告書』
第 2 号議案 『平成 27 年度決算報告書』
第 3 号議案 『平成 28 年度事業計画書』
第 4 号議案 『平成 28 年度収支予算書』
第 5 号議案 『定款の変更』
第 6 号議案 『理事の増員について』
第 7 号議案 『平成 29 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』

6 実施概要と議決結果

(実施概要)

今野会長は、第 7 回定時社員総会 (平成 28 年 6 月 24 日開催) に提案する議案について、理事会の決議を得るため、平成 28 年 6 月 22 日、理事全員に表決を求める電子メール (第 7 回定時社員総会議案書を添付) を送信し、理事全員は、平成 28 年 6 月 23 日までに全議案について表決した。

(議決結果)

第 1 号議案 『平成 27 年度事業報告書』

本議案は、第 7 回定時社員総会で報告する第 1 号報告 『平成 27 年度事業報告書』 について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第 7 回定時社員総会議案書の第 1 号報告 『平成 27 年度事業報告書』 に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 2 号議案 『平成 27 年度決算報告書』

本議案は、第 7 回定時社員総会に提案する第 1 号議案 『平成 27 年度決算報告書』 について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第 7 回定時社員総会議案書の第 1 号議案 『平成 27 年度決算報告書』 に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 3 号議案 『平成 28 年度事業計画書』

本議案は、第 7 回定時社員総会に提案する第 2 号議案 『平成 28 年度事業計画書』 について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第 7 回定時社員総会議案書の第 2 号議案 『平成 28 年度事業計画書』 に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 4 号議案 『平成 28 年度収支予算書』

本議案は、第 7 回定時社員総会に提案する第 3 号議案『平成 28 年度収支予算書』について、理事会の承認を求めるものであり、原案は、第 7 回定時社員総会議案書の第 3 号議案『平成 28 年度収支予算書』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 5 号議案 『定款の変更』

本議案は、第 7 回定時社員総会に提案する第 4 号議案『定款の変更』について、理事会の承認を求めるものであり、原案は、第 7 回定時社員総会議案書の第 4 号議案『定款の変更』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 6 号議案 『理事の増員について』

本議案は、第 7 回定時社員総会に提案する第 5 号議案『理事の増員について』について、理事会の承認を求めるものであり、原案は、第 7 回定時社員総会議案書の第 5 号議案『理事の増員について』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

第 7 号議案 『平成 29 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』

本議案は、第 7 回定時社員総会に提案する第 6 号議案『平成 29 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』について理事会の承認を求めるものであり、原案は、第 7 回定時社員総会議案書の第 6 号議案『平成 29 年度事業計画及び収支予算についての暫定処置』に記載されている。

本議案について、理事全員が電子メールで賛成したので、定款第 36 条第 2 項の規定により原案通り可決する理事会決議があったものとみなされた。

2.4.3 第 3 回理事会

- 1 開催場所 ルーテル市ヶ谷センター
- 2 開催日時 平成 28 年 6 月 24 日 12 時 10 分～12 時 45 分
- 3 理事現在数及び定足数
現在数 10 名 定足数 6 名
- 4 出席者 今野雅（代表理事） 酒井秀久 柴田良一 高木洋平 中川慎二 西剛伺
藤岡照高 野村悦治（監事）
- 5 欠席者 大島聡史 新倉寿夫 野崎文也
- 6 議案等 報告事項 ① オープン CAE シンポジウム 2016 の事務の業務委託について
② 講師紹介問い合わせへの対応について
- 7 会議の概要

（1）定足数の確認

冒頭で、出席理事一同は、本会議が定足数を充足していることを確認した。

（出席者 7 名）

（2）議案の審議状況と議決結果

今野会長が議長となり、審議に入った。

(報告事項)

① オープン CAE シンポジウム 2016 の事務の業務委託について

オープン CAE シンポジウム 2016 について、藤岡理事より、事務の業務委託を事務局の金田氏に依頼したいとの報告があった。

② 講師紹介問い合わせへの対応について

日本機械学会からビッグデータ、データ同化、最適化などの件で講師紹介の問い合わせがあった件について、高木理事より、最適化解析を行っている勉強会メンバーを紹介したとの報告があった。

2.4.4 第4回理事会

- 1 開催方法 電子メールによる表決
- 2 開催期間 平成 28 年 7 月 1 日～4 日
- 3 理事 今野雅 (代表理事) 大島聡史 酒井秀久 柴田良一 高木洋平 中川慎二
新倉寿夫 西剛伺 野崎文也 藤岡照高 吉田正典
- 4 配布資料 平成 28 年度第 4 回オープン CAE 学会理事会議題・議事録
- 5 議案 決議事項 第 1 号議案 『主たる事務所の移転』
- 6 実施概要と議決結果

(実施概要)

今野会長は、決議事項『主たる事務所の移転』について、理事会の決議を得るため、平成 28 年 7 月 1 日、理事全員に表決を求める電子メールを送信し、理事全員は、平成 28 年 7 月 4 日までに全議案について表決した。

(議決結果)

第 1 号議案 『主たる事務所の移転』

当法人の主たる事務所を下記へ移転することとした。

主たる事務所移転先 東京都新宿区荒木町 5 番地 14-201

移転の時期は平成 28 年 7 月 4 日とする。

2.4.5 第5回理事会

- 1 開催場所 港区生涯学習センター
- 2 開催日時 平成 28 年 8 月 7 日 13 時 00 分～17 時 00 分
- 3 理事現在数及び定足数
現在数 11 名 定足数 6 名
- 4 出席者 今野雅 (代表理事) 大島聡史 酒井秀久 柴田良一 高木洋平 中川慎二
西剛伺 野崎文也 藤岡照高 吉田正典 野村悦治 (監事)
- 5 欠席者 新倉寿夫
- 6 議案等 決議事項 第 1 号議案 『講習会について』
第 2 号議案 『学会賞委員会について』
第 3 号議案 『講師派遣規定について』
協議事項 ① 論文誌立ち上げについて
② 資料翻訳について
報告事項 ① 学会の法人登記について
② 総会付帯講習会について
③ サマースクール 2016 について

- ④ シンポジウム 2016 について
- ⑤ 賛助会員との意見交換会について
- ⑥ Web 編集について
- ⑦ モデルベースデザイン委員会について
- ⑧ コミュニティベースの活動について
- ⑨ 新規賛助・公益会員について
- ⑩ 他学会との連携について

7 会議の概要

(1) 定足数の確認

冒頭で、出席理事一同は、本会議が定足数を充足していることを確認した。

(出席者 10 名)

(2) 議案の審議状況と議決結果

今野会長が議長となり、審議に入った。

(決議事項)

第 1 号議案 『講習会について』

今後の講習会について、以下の通り出席理事全員一致で可決した。

- ・ 2017 年 3 月の地方講習会は、開催する方向で協議を進める。
- ・ 講習会用の USB メモリの制作・販売は続ける。
- ・ 修了証を発行する。
- ・ 当日に紙でアンケートをとる。後日のアンケート回答にすると、好意的な方しか回答してくれず、内容が統計的に偏るため。

第 2 号議案 『学会賞委員会について』

シンポジウムに向けて田辺賞と学生賞の選出を行う必要があるため、学会賞委員会を立ち上げることにし、以下の通り出席理事全員一致で可決した。

- ・ 委員長が投票期限日を指示し、理事の投票で決める。
- ・ 委員長は持ち回りとし、初代委員長は中川理事とする。

第 3 号議案 『講師派遣規定について』

講師派遣規定について、以下の通り出席理事全員一致で可決した。

- ・ 講師派遣は有料事業と規定されているが、今後は無料紹介とし、規定を削除することとする。

(協議事項)

① 論文誌立ち上げについて、西理事が作成している雛形の論文について、以下のような意見が出された。

- ・ OpenCAE ロゴが大きすぎるので、もう少しコンパクトな（出版社のロゴ程度）のサイズが良い。ヘッダ、フッタ、段組みは 1 段が良い。
- ・ 論文の個別番号は、DOI などを活用する手もある。
- ・ CAE はカラーの可視化情報を扱うことが多いので、カラーで作成するものとする。
- ・ 論文フォーマットに関して、査読結果としてフィードバック項目を用意するとともに、投稿規定にも明文化する。
- ・ 電子投稿システムを立ち上げるのであれば、それを組み込んだ投稿規定にしておく必要がある。
- ・ 参考文献は Web のリンク (URL) も認めるが、明らかに商用目的であるものは削除もしくは修正を求める。また、その旨を投稿規定にも明文化する。

- ・論文投稿は本名で行う。ハンドルネームは認めない。
- ・次回の理事会で投稿規定などを提案、できればシンポジウムで投稿を呼びかける。

② 資料翻訳について

OpenFOAM ユーザガイド、プログラマズガイドの和訳作業について、意見が出された。

(報告事項)

① 学会の法人登記について、事務局の金田氏より、以下の手続きが完了したとの報告があった。

- ・定款変更(事業・目的変更)→7/14 頃、完了した。印紙代は 30,000 円であった。
- ・理事変更(理事増員、代表理事住所移転)→7/14 頃、完了した。印紙代は 10,000 円であった。
- ・学会の住所移転→7/23 頃、完了した。印紙代は 60,600 円であった。

② 総会付帯講習会について

6/24 実施の総会付帯講習会について、酒井理事より以下の報告があった。

- ・収支は黒字であり、ここから金田氏へ事務業務委託費を支払い、最終的に黒字となる。
- ・アンケート集計結果について
 - ・会員は安い、非会員は高いと回答しており、金額的には適切と思われる。
 - ・流体のメッシュ生成トレーニングについて、内容が難しいとの回答があった。

③ サマースクール 2016 について

8 月開催のサマースクール 2016 について、高木理事より、収支は黒字確定との報告があった。参加申込状況は 17 名で、内訳は社会人 13 名、学生 4 名とのことであった。

④ シンポジウム 2016 について

シンポジウム 2016 について、藤岡理事より、基調講演は加藤千幸氏内諾済との報告があった。講習会講師は、中川理事(流体 2 コマ)、藤岡理事(構造 2 コマ)、柴田理事(構造 1 コマ)、西理事(1D 1~2 コマ)、その他関東勉強会に推薦依頼中とのことであった。

⑤ 賛助会員との意見交換会について、西理事より、以下の報告があった。

- ・賛助会員のページは、インタビュー記事作成を新倉理事が 9 月から順次作成予定。
- ・オープン CAE ツールの紹介は、高木理事が WordPress の非公開ページを作成済み。
- ・Top ページの賛助会員バナーランダム入れ替えは、WordPress のプラグインを導入し稼働開始した。
- ・次回の意見交換会は、シンポジウム前(9 月)に開催し、可能な意見はシンポジウムに反映させたい。

⑥ Web 編集について、高木理事より、以下の報告があった。

- ・シンポジウム 2016 のページを作成し、概要を掲載した。
- ・東京大学情報基盤センターのバナーを追加した。
- ・パーマントリンクの英語表記への変更、固定ページのツリー構造の変更をステーショングサイトにて作業中であり、作業完了次第、本番サイトに差し替える。

⑦ モデルベースデザイン委員会について、西理事より、以下の報告があった。

- ・オープン CAE 勉強会@関東(流体など)のメンバで委員会を構成し、岩手大福江氏にもシンポジウムに向けて協力を要請している。
- ・勉強会内でも活動を活性化させる他、他学会への活動広報とメンバ勧誘も進めていきたい。

⑧ コミュニティベースの活動について、今野会長より、以下の報告があった。

- ・学会主催のワークショップは途絶えたが、コミュニティベースの合同勉強会として復活した。
- ・今後学会が支援できる内容があるか検討したい。
- ・支援の内容としては、有名人を呼んだ謝金、実験の費用、会場費等。

・会員が主催するイベントを支援するので、非会員の参加者がいても問題ない。

⑨ 新規賛助・公益会員について

- ・2016年4月以降の新規賛助・公益会員は、以下のとおりであった。
- ・株式会社フォーラムエイト（賛助会員） 2016/5/27 入会
- ・PC クラスタコンソーシアム（公益会員） 2016/6/17 入会
- ・旭硝子株式会社（賛助会員） 2016/7/29 申込

⑩ 他学会との連携について、高木理事より、以下の報告があった。

・2016年11月14日(月)-15日(火)に、化学工学会関西支部にて、化学工学会 OpenFOAM 講習会が開催される。講師は今野会長、高木理事。講習内容は、環境構築、混相流解析。

2.4.6 第6回理事会

- 1 開催場所 ステーションガーデンタワー
- 2 開催日時 平成28年11月6日 13時00分～17時00分
- 3 理事現在数及び定足数
現在数 11名 定足数 6名
- 4 出席者 今野雅（代表理事） 大島聡史 酒井秀久 高木洋平 中川慎二
新倉寿夫 西剛伺 藤岡照高 吉田正典 野村悦治（監事）
- 5 欠席者 柴田良一 野崎文也
- 6 議案等 決議事項 第1号議案 『来年度の定時社員総会について』
第2号議案 『2016年度田辺賞について』
協議事項 ① 講習会について
② 学会 Web サイトについて
③ 学会誌について
④ モデルベースデザインについて
⑤ V&V リポジトリのケースについて
⑥ ハンドルネームでの講演発表・論文投稿について
報告事項 ① 6/24 実施の総会付帯講習会について
② サマースクール 2016 について
③ シンポジウム 2016 について
④ 賛助会員との意見交換会について
⑤ 英語での情報発信について
⑥ 資料翻訳について
⑦ 化学工学会主催の OpenFOAM 講習会について

7 会議の概要

（1）定足数の確認

冒頭で、出席理事一同は、本会議が定足数を充足していることを確認した。

（出席者9名）

（2）議案の審議状況と議決結果

今野会長が議長となり、審議に入った。

（決議事項）

第1号議案 『来年度の定時社員総会について』

平成29年度定時社員総会と付帯オープンCAE講習会について、以下の通り出席理事全員一致で可決した。

・日時は2017年6月23日(金)、会場は東京のルーテル市ヶ谷とする。

第2号議案 『2016年度田辺賞について』

2016年度田辺賞について、以下の通り出席理事全員一致で可決した。

・2016年度田辺賞は春日氏とする。

(協議事項)

① 講習会について、以下のような意見が出された。

- ・ 次回のシンポジウム以降、機械学会認定コースで修了証を発行したい。認定証のメリットとして、(1)出席者は会社へのエビデンスとなる、(2)学会はアンケートを出してもらえ、等が挙げられる。
- ・ 講習会アンケートの内容はあまり変えずに、時系列分析できるようにするのが良いのではないか。
- ・ 講習会アンケートのラジオボタン(一つしか選択できない)の質問について、チェックボックス(複数選択可)にした方が良いものがあるので、検討して修正したい。

② 学会Webサイトについて、以下のような意見が出された。

- ・ 学会の年間イベントカレンダーがあると良いのではないか。
- ・ 理事以外の方がイベントの実行委員長になる場合、編集できるように権限移譲しやすくすると良いのではないか。

③ 学会誌について、以下のような意見が出された。

- ・ 執筆要綱を定める必要がある。

④ モデルベースデザイン活動について、以下のような意見が出された。

- ・ オープンCAE勉強会@関東(流体など)で、モデルベースデザイン活動を推進中であり、今後は他学会などで活動紹介も実施する予定である。

⑤ V&Vリポジトリのケースについて、以下のような意見が出された。

- ・ OpenFOAM用ケースをVersion 4.xに対応させる等の作業を、学生にお願いしたい。
- ・ 講習会での演習課題について、V&Vに関連し、かつリポジトリで公開可能なものがあればコミットをお願いしたい。
- ・ モデルベースについても、同様に提供できるものがあれば、コミットをお願いしたい。

⑥ ハンドルネームでの講演発表・論文投稿について、以下のような意見が出された。

- ・ シンポジウムにてハンドルネームでの講演発表を可としているが、出版物でのハンドルネームの使用について議論の必要がある。
- ・ 他学会と同様に講演要旨の提出を要求しているが、一部の発表者からは面倒であるとの指摘もある。講演要旨を書きたくないが発表したい人向けのライトニングセッションを作ってはどうか。
- ・ 身分証明等、正式な手続きを決めなければいけないのではないか。

(報告事項)

① 6/24実施の総会付帯講習会について実施報告があった。

② サマースクール2016について実施報告があった。

- ・ 今回のサマースクール内容を、電子書籍として刊行準備中である。講師からの電子書籍用改訂原稿は提出完了済で、高木理事と阪大学生で組版及び増補・校閲中とのことであった。
- ・ 次回2017年度のサマースクールは富山近辺で開催する。実行委員長は富山県立大学の大嶋氏で、10/15(土)に富山県立大学にて引き継ぎ実施済み。2017年度は初級編を予定している。

③ シンポジウム2016について

藤岡理事より、座長はモデルベース以外内諾済との報告があった。また、ランチョンセッションの昼食は新倉理事が担当するとのことであった。

④ 賛助会員との意見交換会について

9/12に開催された賛助会員との意見交換会について、西理事より、実施報告があった。

⑤ 英語での情報発信について

中川理事より、英語専用の SNS (Twitter 等) のアカウントを運用したい。日本語で発信した情報を英語化して発信したいとの報告があった。

⑥ 資料翻訳について、以下の報告があった。

- ・構造関係は、今後、候補を募る予定である。
- ・流体関係は、実施体制を検討中である。

⑦ 化学工学会主催の OpenFOAM 講習会について

11月14日・15日に、化学工学会関西支部主催・オープン CAE 学会共催で、OpenFOAM 講習会を大阪市内(本町)で開催するとの報告があった。

2.4.7 第7回理事会

- 1 開催場所 東京大学生産技術研究所
- 2 開催日時 平成28年11月25日 18時15分～18時30分
- 3 理事現在数及び定足数
現在数 11名 定足数 6名
- 4 出席者 今野雅(代表理事) 大島聡史 酒井秀久 柴田良一 高木洋平 中川慎二
新倉寿夫 西剛伺 藤岡照高 野村悦治(監事)
- 5 欠席者 野崎文也 吉田正典
- 6 議案等 協議事項 ① 来年度のシンポジウム開催地について
- 7 会議の概要

(1) 定足数の確認

冒頭で、出席理事一同は、本会議が定足数を充足していることを確認した。

(出席者9名)

(2) 議案の審議状況と議決結果

今野会長が議長となり、審議に入った。

(協議事項)

① 来年度のシンポジウム開催地について

来年度のシンポジウム開催地について、以下のような意見が出された。

- ・第一候補：神戸
- ・第二候補：名古屋

2.4.8 第8回理事会

- 1 開催場所 東洋大学
- 2 開催日時 平成28年12月17日 13時00分～16時30分
- 3 理事現在数及び定足数
現在数 11名 定足数 6名
- 4 出席者 今野雅(代表理事) 大島聡史 酒井秀久 中川慎二
新倉寿夫 藤岡照高 吉田正典 野村悦治(監事)
- 5 欠席者 柴田良一 高木洋平 西剛伺 野崎文也

- 6 議案等 決議事項 第1号議案 『シンポジウム2017について』
- 協議事項 ① 秋田講習会について
 ② サマースクール2017について
 ③ 学会の紹介リーフレットについて
 ④ 学会Webサイトについて
 ⑤ 2016年度の表彰について
- 報告事項 ① シンポジウム2016について
 ② 論文誌について
 ③ 英語版Twitterアカウントについて
 ④ モデルベースデザイン委員会の活動について
 ⑤ V&V委員会の活動について
 ⑥ 化学工学会講習会について
 ⑦ RIST OpenFOAMワークショップについて
 ⑧ 応用数理学会セミナーについて

7 会議の概要

(1) 定足数の確認

冒頭で、出席理事一同は、本会議が定足数を充足していることを確認した。

(出席者7名)

(2) 議案の審議状況と議決結果

今野会長が議長となり、審議に入った。

(決議事項)

第1号議案 『シンポジウム2017について』

- ・会場は名古屋大学に決定した。
- ・日程は、12月1日(金)-2日(土)を第一候補、12月8日(金)-9日(土)を第二候補とする。
- ・現状でのシンポジウム2017の実行委員体制は以下の通り。
 現地実行委員長：片桐氏(名古屋大学)
 現地実行委員：出川氏(名古屋大学)
 委員：吉藤氏、今野会長

以上の報告に基づき、以下の通り出席理事全員一致で可決した。

- ・委員長は柴田理事に依頼する。

(協議事項)

① 秋田講習会について

1/28(土)に秋田大学で実施する講習会について、酒井理事から以下のような報告があった。

- ・秋田大学と共催の形で実施予定である。
- ・参加費は無料、講師謝礼はせず、主な支出は、会場費、講師2名と酒井理事の移動費用である。
- ・実施日時：平成29年1月28日(土) 10:00-17:00
- ・実施場所：秋田大学手形キャンパス理工学部2号館4階 P403 教室
- ・実施内容：
 - 熱流体セッション
 午前の部：OpenFOAMの導入 午後の部：OpenFOAMのチュートリアル講習
 - 構造・可視化セッション

午前の部：ParaViewによる可視化技術講習

午後の部：構造に関するオープン CAE Salome-Meca 講習

以上の報告に基づき、以下のような意見が出された。

- ・今回は日本機械学会認定は受けられないが、今後の総会講習会やサマースクールなど向けに認定講習ができるように考えたい。
 - ・次年度以降の地方講習会はどうするか？→ 今回の共催は特別対応で、次回以降は別途検討する。
- ② サマースクール 2017 について
- ・開催場所・日程を検討中である。場所は富山を計画している。
 - ・初級者向けであることから、日本機械学会認定講習を含めることも検討している。
 - ・総会トレーニングの認定を受ける場合も想定されるので、地方講習会を含め、いろいろなケースをまとめて日本機械学会に認定変更申請が出せると良いのではないか。
- ③ 学会の紹介リーフレットについて
- ・学会の紹介リーフレットを作成し、OpenFOAM ワークショップ用に 90 部送付し、配布していただいた。
 - ・PDF 版は Web で公開した方が良いのではないか。
- ④ 学会 Web サイトについて
- ・WordPress のテンプレートを定例イベント (シンポジウム、サマースクール、地方講習会) 毎に別の様式を使うことについて、プラグインで対応可能であるとの助言を得ており、作業を準備中である。
 - ・イベントごとに理事以外の方がページを編集できた方が良いのではないか。
- ⑤ 2016 年度の表彰について
- ・田辺賞を春日氏、最優秀学生講演賞を清水氏 (富山県立大学) に決定した。
 - ・他学会等の情報を参考に、これから表彰規定を整備する。
 - ・受賞者の会員資格などが議論になる可能性がある。過去の受賞者リストの作成およびウェブページでの公開に向けて、必要な作業の洗い出しを始める予定である。
 - ・ウェブ公開の許可を得るとき、当時の所属を記載する旨を伝える。
学生賞は、すでにプログラムで公開されているので、承諾は不要とする。

(報告事項)

- ① シンポジウム 2016 について、藤岡理事から実施報告があった。
- ② 論文誌について、吉田理事より進捗状況報告があった。
- ③ 英語版 Twitter アカウントについて、進捗状況報告があった。
- ・英語版 Twitter アカウント OpenCAESoc. JP、@OpenCAEjp_eng を作成した。
- ④ モデルベースデザイン委員会の活動について、西理事が記載の議題に基づき、中川理事より経過報告があった。
- ⑤ V&V 委員会の活動について、今野会長より活動報告があった。
- ⑥ 化学工学会講習会について
- 高木理事より、2016 年 11 月 14 日 (月) -15 日 (火) に、化学工学会関西支部 (大阪市本町・大阪科学技術センター) にて、化学工学会主催・オープン CAE 学会共催で、スキルアップセミナー「ゼロからできる CFD」を実施したとの報告があった。
- ⑦ 一般財団法人高度情報科学技術研究機構 OpenFOAM ワークショップについて
- 一般財団法人高度情報科学技術研究機構主催、オープン CAE 学会協賛の第 4 回 OpenFOAM ワークショップが 12 月 16 日秋葉原 UDX で開催され、今野会長の講演において、学会の紹介を行なったとの報告があった。

⑧ 応用数学会セミナーについて

藤岡理事より、応用数学会からの依頼により、2017/02/20 に筑波大学文京キャンパスで、学会作成の教材を用いた無料講習を予定しているとの報告があった。

2.4.9 第9回理事会

- 1 開催場所 ステーションガーデンタワー
- 2 開催日時 平成29年3月4日 13時00分～17時00分
- 3 理事現在数及び定足数
現在数 11名 定足数 6名
- 4 出席者 今野雅（代表理事） 大島聡史 酒井秀久 柴田良一 中川慎二
新倉寿夫 西剛伺 藤岡照高 野村悦治（監事）
- 5 欠席者 高木 洋平 野崎 文也 吉田正典
- 6 議案等
決議事項 第1号議案 『オープンCAE シンポジウム2017の開催概要について』
協議事項 ① サマースクール2017について
② 資料翻訳について
③ 勉強会支援策について
報告事項 ① OpenCAE 地方講習会@秋田について
② オープンCAE シンポジウム2016について
③ 紹介リーフレットについて
④ 論文誌について
⑤ 国際化推進について
⑥ モデルベースデザイン委員会の活動について
⑦ OpenFOAM ベンチマークテストについて
⑧ 応用数学会主催のセミナーについて

7 会議の概要

（1）定足数の確認

冒頭で、出席理事一同は、本会議が定足数を充足していることを確認した。

（出席者8名）

（2）議案の審議状況と議決結果

今野会長が議長となり、審議に入った。

（決議事項）

第1号議案 『オープンCAE シンポジウム2017の開催概要について』

本議案は、オープンCAE シンポジウム2017の概要について理事会の承認を求めるものであり、原案は下記のように提示された。

日程 2017年12月7日（木）、12月8日（金）、12月9日（土）

会場 名古屋大学

運営方針案（実行委員会、主な業務、講演会、予算）について確認した。

本議案について、原案に基づく開催を出席理事全員一致で可決した。

（協議事項）

① サマースクール2017について

- ・開催場所と日程を下記の通り検討中である。
- ・場所：立山グリーンパーク吉峰

- ・住所：〒930-1362 富山県中新川郡立山町吉峰野開 12
 - ・日程：9月8日(金)～9月10日(日)
 - ・日本機械学会認定取得の有無については、全体構成をみてから検討したい。
- ② 資料翻訳について、藤岡理事より下記のような意見が出された。
- ・Salome-Meca の公式教材の翻訳、学会 Web ページへの掲載を目標とする委員会を設置したい。
 - ・インストール資料等、講習会の準備資料を学会名義で公開したい。
- ③ 勉強会支援策について、下記のような意見が出された。
- ・勉強会会場確保に関する支援策を明確化していきたい。
 - ・学会名で会場を借りることはできない。
 - ・勉強会の会場費を学会が補助することは可能なので、来年度から予算を組む方向で審議する。

(報告事項)

- ① OpenCAE 地方講習会@秋田について、酒井理事より下記のような報告があった。
- ・1月28日(土)に秋田大学手形キャンパスで OpenCAE 地方講習会@秋田を秋田大学と共同で実施した。参加者数は34名で、講師4名、学会側事務局1名を含む。
 - ・新規参加者や学生参加者が多く、満足度も高めであり、OpenCAE 普及に成果があったことがアンケート結果から伺えた。
 - ・講習会資料のうち、下記の資料を OpenCAE 北東北勉強会の HP にて一般公開している。
 - ・Paraview 講習 (中山様)
 - ・仮想化ソフトウェアによる OpenFOAM 利用環境の構築 (若嶋様)
 - ・blockMesh コマンドを用いたメッシュ生成 (若嶋様)
 - ・OpenFOAM での回転流れの解析機能+並列計算機能について (若嶋様)
 - ・buoyantBoussinesqPimpleFoam を使った熱流体解析演習 (福江様)
 - ・参加費は無料である。
- ② オープン CAE シンポジウム 2016 について、藤岡理事より実施報告があった。
- ③ 紹介リーフレットについて、下記の報告があった。
- ・学会の紹介リーフレットを作成し、Web で公開した。
 - ・高度情報科学技術研究機構主催のシンポジウムで配布のため、90部印刷して送付した。
- ④ 論文誌について、吉田理事から進捗状況報告があった。
- ⑤ 国際化推進について、中川理事から、2016 シンポジウムプログラムの英語版資料を作成中との報告があった。
- ⑥ モデルベースデザイン委員会の活動について、西理事から下記のような実施報告があった。
- ・2016年12月、日本機械学会北陸支部北陸流体工学研究会主催の流体工学シンポジウム 2016 にて、モデルベースデザインと本委員会を紹介した。
 - ・2017年1月、日本機械学会 RC271 研究分科会及び同熱ワークグループにて、モデルベースデザインと本委員会を紹介した。
 - ・2017年2月に研究会を初開催した。
 - ・今後、2か月に1回程度、研究会を開催予定である。
 - ・2017年2月に御茶ノ水で行われた日本学術振興会プロセスシステム工学第143委員会にて、「オープンソースソフトウェアを活用した熱流動現象の解析とプロセス設計」という題目で、モデルベースデザインを含むオープン CAE 活動を紹介した。
- ⑦ OpenFOAM ベンチマークテストについて、今野会長から実施報告があった。
- ⑧ 応用数理学会主催のセミナーについて、藤岡理事から、2017年2月20に筑波大学にて、

学会作成の教材を用いて無料講習を実施した旨報告があった。